

# 桂川

25

## 山中湖と相模湾を結ぶ川



かつての桂川の川ざらい



河内晶さ子氏所蔵 現在の桂川

桂川は山中湖を水源としています。忍野八海の水が流れ込み、山梨県を流下し、下流の神奈川県では相模川、さらに河口付近では馬入川という名となり、相模湾に注ぎ込みます。山梨県内では、桂川という名称が古くから親しまれていたため、一級河川「相模川（桂川を含む）」として登録されています。

村内を流れる桂川では、夏には羽黒トンボなどが飛び、夜にはホタルが舞うのを見ることができます。このホタルの時期に竹灯籠イベント\*も行われています。

\*「竹灯籠イベント」平成24年から村の行事に合わせて夜間に竹灯籠によるライトアップを開催しています。7月の桂川のホタルのほかに、8月の山中明神太鼓「納涼打ち込み」、9月の例大祭「安産祭り」、11月の「夕焼けの渚・紅葉祭り」でも行われています。

竹灯籠は何十年後には山中の名物になっているはず。

村のみんなの

声

昔は、湖岸から丸尾一帯を「諏訪組」と呼んだ。

小さい頃、ホタルがたくさん飛んでいて、見に行った記憶がある。

桂川の源流部は台風の時にウナギがとれる場所でもある。

竹灯籠を並べたり、ろうそくを灯すのを手伝ってほしい。

護岸に階段があり、ここから川岸まで下りて、川の水で洗濯や食器洗いをした。

小さい頃から、今のように入面コンクリート護岸だった。

昔は手作業で藻などを取り除いていたが、機械で川ざらいをしたためにホタルがいなくなったと思う。

羽黒トンボはあまり見なくなった。昔はサワガニやイモリもいた。

15年ほど前は、映画「火垂るの墓」ぐらいホタルが飛んでいたが、川の土をとってからはほんの少し飛んでるだけになった。

掘り起こされた

宝

- 桂川
- 桂川ホタル
- 竹灯籠イベント
- 桂川の羽黒トンボ
- 桂川の川ざらい

July

7月

# ホタル

26

## 闇<sup>やみ</sup>夜<sup>よ</sup>にまたたく光の正体



ヒメボタル 写真提供) 富士山自然学校

ヒメボタル 写真提供) 冨塚裕子氏

村では、山中湖や桂川沿いのほかに、森の中でもホタルに出会うことができます。

ただし、山中湖の浜では昭和50年頃を境に見ることができなくなってしまいました。

森に生息する陸生のホタルは「ヒメボタル」といい、7月の夜遅くに、旭日丘の文学の森周辺などで見ることができます。

花の都公園の近くの桂川にはヘイケボタルが現れる年もある。

村のみんなの

声

ヒメボタルは年に一度きり、深夜にならないと出会えない。

ヒメボタルの出現は午後11時～12時からと真夜中のため住人への配慮が必要。

文学の森では、かつてホタルの見学会が行われていた。

今は、湖からカワニナがいなくなり、ホタルもいなくなった。

ヒメボタルは見たことがないし、場所がわからない。

ヒメボタルはデジタル的な光が印象的。

40年前は湖畔にホタルがいた。

かつては、春先に磯に群れを成して集まってくるのを網で囲って獲っていた。

ヒメボタルのことは、地元にいながら知らなかった！

ヒメボタルはあまりの数でびっくりする。

掘り起こされた

宝

●ヒメボタル

●カワニナとホタル

ヒメボタルがいるのは、森がきれいな証拠。

July

7月

# フジマリモ

27

## マリモの南限の生息地



フジマリモ

出典) LAKE YAMANAKA (昭和 54 年) 山中湖村観光課・山中湖観光協会

マリモとは、球状の集合体を作る淡水性の緑藻の一種です。従来は、北海道の阿寒湖をはじめとした北半球の高緯度の淡水湖にしか生育しないと考えられていました。しかし、世界で一番南方の山中湖で、昭和31年に小学生が発見し、小学校校長である杉浦忠睦氏により、マリモの一種「富士毬藻（フジマリモ）」と命名されました。

平成27年現在、フジマリモは生息地である富士五湖も含めて県指定の天然記念物となっています。

発見当時は山中湖で普通に見られていましたが、近年の湖の環境悪化等に伴い、ほとんど見られなくなってしまいました。

平成25年に行われた調査により、山中湖でのフジマリモの生息が確認され、阿寒湖の「マリモ」と同じタイプのマリモと「タテヤママリモ」という2種のマリモが共存している可能性があることがわかりました。

2005年の調査で絶滅したと思われていたフジマリモを東京都の会社員の亀田さんが自宅で育てていて山中湖に戻してくれた。

フジマリモを保存していた亀田さんの功績は大きい。

マリモが復活する条件として、山中湖のヘドロ除去が必須であると思う。

村のみんなの

声

子どもが泳げるくらい湖がきれいだったころはマリモが緑だった。

マリモも昔は浜にたくさん打ち上げられていた。

打ち上げられたマリモは腐ってしまい、この匂いがとても臭かったのを覚えている。

長池天神社下の辺りの湖の底から湧水が湧いており、きれいな水が供給されていたことから、そのあたりに生息していたと言われている。

掘り起こされた

宝

●フジマリモ

July

7月

# 平野の天神様

28

## 夏の始まりを告げる祭り



平野天満天神社



平野天満天神社例祭

写真提供) 有限会社マーディー

平野天満天神社は、学問文道、文化医療の神「菅原道真」と、武勇・医療・産業・五穀豊穰、厄除追儺の神「素盞鳴尊」が祀られている村の由緒ある古い氏神様です。

16世紀に産土神社として鎮座し、現在では、「厄除け」、「文化産業の発展」と共に「学業成就」、「武運」など、文武両道に御神徳のある神社として崇敬されています。

毎年7月14日から16日にかけては、「平野天満天神社例祭（天王祭）」が行われ、神輿渡御や奉納相撲のほか、女らしく内股で舞われる珍しい雌獅子神楽「天岩戸神楽」が行われています。

村のみんなの



神楽は最近復活した。

祭りでは獅子舞は悪魔祓いとして舞う。

山中の諏訪神社と同じく、この天神社にも土俵があり、祭りの際に相撲をとる。

天神社の壁に弓がかけてある。

祭りの時に参加したい。

獅子舞は、祭りの他に結婚や出産の時に舞う。

もう一基は幣束と呼ばれ、女の腰巻を巻いた女役の男性が担ぐ。

一基は普通の御神輿で42歳の厄年の男性が白装束を着て担ぐ。

掘り起こされた



33 平野天満天神社

July

7月